

陶管・ヒューム管補修システム

φ100
～
φ300

既設管路の ●部分補修 ●やり替え工事 に最適

仕上がり確実・お手軽施工の専用部材



陶管・ヒューム管補修システム

急結モルタル
又は下水道用接合剤

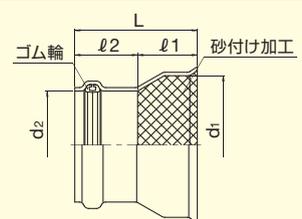
急結モルタル
又は下水道用接合剤

補修管 (塩ビ管)

既設陶管 (上流側)

既設陶管 (下流側)

陶管・ヒューム管補修用継手 VHB-R



ゴム輪受口
によりヤリト
リ可能

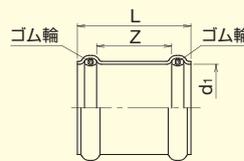
テーパ構造により
容易に芯出しが可能

サイズ	d1(参考)	d2(最小)	l1	l2	L	価格	梱包	製品コード
100	158	114.5	90	82	172	-	12	5 273129 -
125	190	140.6	110	95	205		6	5 273128 -
150	220	165.7	120	110	230		6	5 273131 -
200	280	216.9	120	126	246		2	5 273132 -
250	340	268.1	120	155	275		1	5 273133 -
300	400	319.3	120	175	295		1	5 273134 -

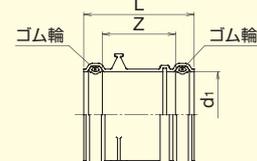
ゴム輪受口カラー WR

ゴム輪 →
受口により
ヤリトリ可能

呼び径 100/150/200/250/300



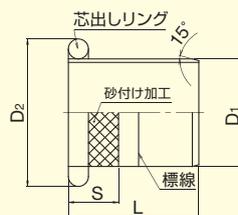
呼び径 125



サイズ	L	Z	d1(最小)	価格	梱包	製品コード
100	175	100	114.5	-	18	5 273440 -
125	180	115.8	140.6		4	5 273441 -
150	215	145	165.7		8	5 286180 -
200	240	135	216.9		4	5 273443 -
250	310	157	268.1		1	5 273444 -
300	350	158	319.3		1	5 273445 -

陶管受口用芯出し短管 CP-SA

圧縮可能な芯出
しリングにより
容易に仮固定、
芯出しが可能



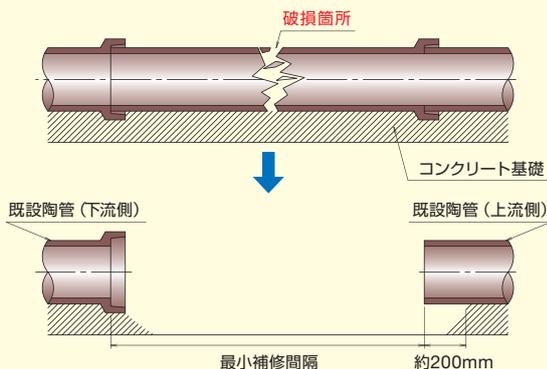
サイズ	D1	D2(参考)	L	S(参考)	価格	梱包	製品コード
100	114±0.4	164	230	100	-	6	5 273757 -
125	140	200	230	100		4	5 273758 -
150	165±0.5	225	260	100		3	5 273759 -
200	216±0.7	296	260	100		2	5 273760 -
250	267±0.9	347	295	100		1	5 273761 -
300	318±1.0	418	315	100		1	5 273762 -

ヒューム管にも使用可能です。
受口に入りにくい場合は芯出しリングに滑剤を塗布して下さい。

施工概要例

1

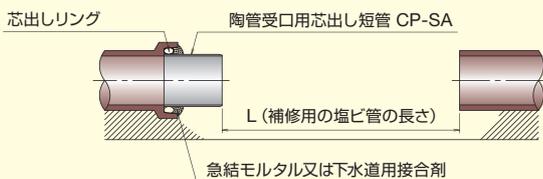
補修すべき箇所の既設陶管とコンクリート基礎を除去します(既設陶管(上流側)は端面より約200mmの位置でコンクリート基礎を縁切りし、除去します)。既設陶管受口にゴム輪などが付いている時は、カッターなどを使用し、外して下さい。



呼び径	最小補修間隔 (mm)	補修管の種類
100	650	VP管
125	700	
150	750	
200	800	VU管
250	950	
300	1000	

2

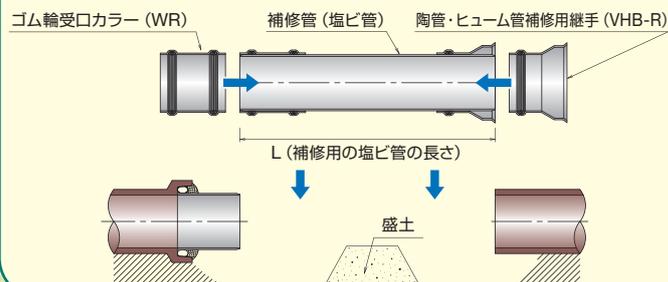
既設陶管(下流側)に陶管受口用芯出し短管(CP-SA)を取付け、急結モルタル又は下水道用接合剤で接合します。この時、既設陶管(下流側)と芯出し短管の管底が一致していることを確認して下さい。次に、芯出し短管と既設陶管(上流側)の間の管路長を測定し、補修用の塩ビ管を用意します。



3

補修管(VU管)の両端に陶管・ヒューム管補修用継手(VHB-R)とゴム輪受口カラー(WR)を取付けます。ゴム輪及びゴム輪が通過する部分には滑剤を塗布して下さい。

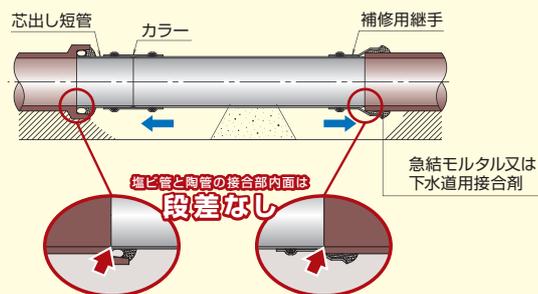
用意した補修管(補修用継手とカラーを両端に取付けた状態の塩ビ管)を既設陶管に仮合わせします。この時、盛土などにより高さ調節をして下さい。



4

3の状態では芯出し短管に滑剤を塗布し、補修用継手とカラーを既設陶管側にスライドし、管路を接合します。スライドさせる時は、ロープなどを使用すると便利です。補修用継手は既設陶管(上流側)端面にあたるまで、カラーは芯出し短管の標線までスライドさせます。補修用継手と既設陶管(上流側)は急結モルタル又は下水道用接合剤で接合します。

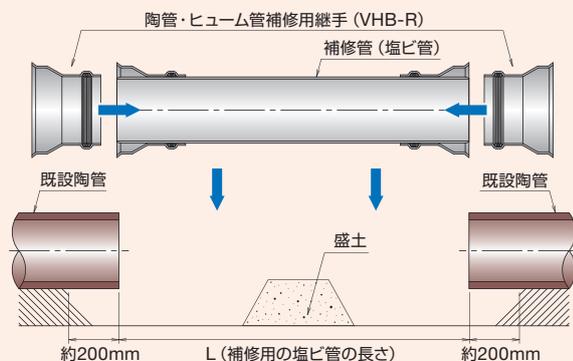
配管完了後は、砂などの良質土で均一に埋戻します。埋戻す時は、十分に締固めを行いながら、埋戻して下さい。



こんな使い方もできます

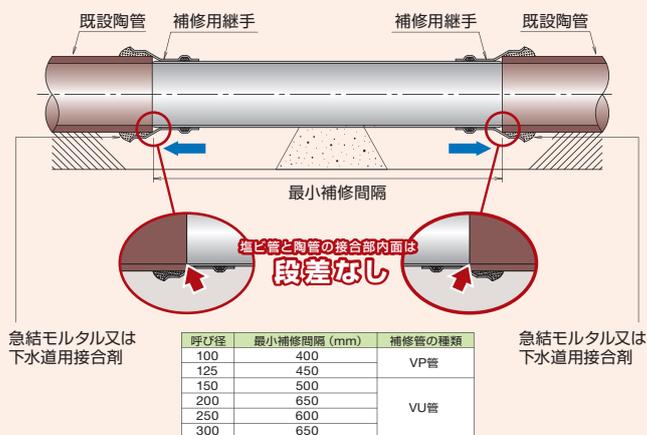
1

施工概要例と同様に、補修すべき箇所の既設陶管とコンクリート基礎を取り除きます。次に、既設陶管の間の管路長を計測し、補修用の塩ビ管を用意します。補修管の両端に陶管・ヒューム管補修用継手(VHB-R)を取付けます。ゴム輪及びゴム輪が通過する部分には滑剤を塗布して下さい。用意した補修管(補修用継手を両端に取付けた状態の塩ビ管)を既設陶管に仮合わせします。この時、盛土などにより高さを調節して下さい。



2

補修用継手は既設陶管の端面にあたるまでスライドさせます。最後に急結モルタル又は下水道用接着剤により補修用継手と既設陶管を接合します。配管終了後は、砂などの良質土で均一に埋戻します。埋戻す時は、十分に締固めを行いながら、埋戻して下さい。



呼び径	最小補修間隔 (mm)	補修管の種類
100	400	VP管
125	450	
150	500	
200	650	VU管
250	600	
300	650	



使用上の注意事項

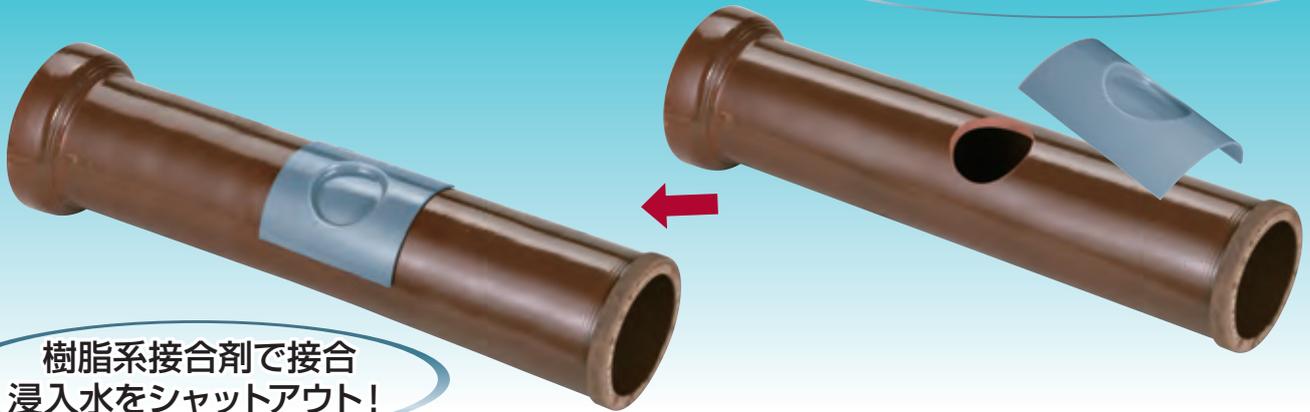
- ゴム輪接合の時は、ゴム輪及び差口をウエスなどで拭き、砂や泥をとり、刷毛を使用し均一に専用滑剤を塗布して下さい。
- 滑剤は専用滑剤 (ARソープ) を使用し、接着剤、油及びグリスはゴム輪を傷める恐れがあるので使用しないで下さい。
- 陶管・ヒューム管補修システムφ100、φ125サイズは内面段差を生じさせないため、補修管にはVP管を使用して下さい。

陶管・ヒューム管用 閉塞キャップ

SHR-C

既設取付管の撤去工事に最適

カンタンに復旧できます



200~300 -150

呼び径	価格	梱包	製品コード
200-150	—	10	5 273739 -
250-150	—	10	5 273740 -
300-150	—	10	5 273741 -

350~500 -150

呼び径	価格	梱包	製品コード
350-150	—	10	5 273742 -
400-150	—	10	5 273743 -
450-150	—	10	5 273744 -
500-150	—	10	5 273745 -

600~1500以上 -150

呼び径	価格	梱包	製品コード
600-150	—	1	5 218090 -
700~ 900-150	—	1	5 218091 -
1000~1350-150	—	1	5 218092 -
1500以上-150	—	1	5 218093 -

250~500 -200

呼び径	価格	梱包	製品コード
250-200	—	10	5 273750 -
300-200	—	10	5 273751 -
350-200	—	10	5 273752 -
400-200	—	10	5 273753 -
450-200	—	10	5 273754 -
500-200	—	10	5 273755 -

600~1500以上 -200

呼び径	価格	梱包	製品コード
600-200	—	1	5 218095 -
700~ 900-200	—	1	5 218096 -
1000~1350-200	—	1	5 218097 -
1500以上-200	—	1	5 218098 -

陶管・ヒューム管用 管端キャップ

CP-C150

既設取付管の閉塞処理が簡単に



呼び径	価格	梱包	製品コード
150	—	12	5 285095 -

陶管・ヒューム管の内径にゴム輪接合

